

## 令和4年中における無火災について

令和4年中における火災件数は0件で、1年をとおして無火災を継続したのは、火災記録が残る大正7年以降初めての快挙となりました。これもひとえに市民の皆さん一人ひとりの防火意識の賜物です。芦別消防署・消防団では、これに満足することなく引き続き火災予防を呼びかけていきますので、宜しく願い致します。

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106

## 芦別消防団員を募集中

芦別消防団では、各地域で活躍する消防団員を募集しています。

年齢満18歳以上で、本市に居住されている心身ともに健康なかたであれば性別を問わず入団できます(高等学校在学中のかたは入団できません)。

消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基

づき、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。消火活動はもとより、地震、風水害、行方不明者の捜索等、さまざまな災害に出動し活躍しています。

地域住民の安全・安心のために重要な役割を担っている消防団に興味・関心のあるかたは、芦別消防署までお問い合わせください。

●詳細 芦別消防署庶務係 ☎22-3106

## ★市長だより★

65

1月に行われた主な行事についてお伝えさせていただきます。

4日、市と芦別商工会議所の主催による新年交礼会が、コロナ禍から3年ぶりに規模を縮小し、市内の企業、団体の皆様総勢64名のご出席をいただいた中で開催されました。

コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻などから原油価格・物価高騰に加え、人口減少や少子化の進展、地域経済の低迷等厳しい環境におかれておりますものの、「卯年」は飛躍、好転の年ともいわれており、希望をもって、さまざまな課題に官民連携、オール芦別で挑戦し、前進し続けられるよう、決意を新たにいたしました。

8日、昨年4月の民法改正により、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことから、これまでの「成人式」から「はたちを祝う会」に名称を変更し、市教育委員会主催により市民会館で開催され、来賓を代表し、出席された59名の皆さんに大人の仲間入りをされたことへの心からの祝意と、これからの長い人生の中で待ち受けるさまざまな困難や試練を若い力で乗り越え、多くのことを成し遂げていただくようエールを送らせていただきました。

同日、芦別消防出初式が、3年ぶりに一番街での消防職団員総勢130名の威風堂々とした分列行進に始まり、福祉センター駐車場での開会式(観閲など)の後、同センターで式典が執り行われ、式典では延べ101名の団員の皆様が永年勤続・勤労等表彰の榮譽に浴されたことに、心からの祝意とともに、一昨年の12月10日以来、



1年以上の無火災が継続しており、このことは高砂団長を筆頭に芦別消防団の無火災への取り組みが結実したものであり、深く敬意と感謝の意を表させていただきます。

本市が掲げる安全安心なまちづくりには、地域防災のリーダーとして芦別消防団の存在は不可欠で、かけがえのないものがありますので、今後とも消防活動の使命達成にご尽力、ご協力賜るようお願い申し上げます。

13日、芦別青年会議所の新年交礼会が芦別温泉スターライトホテルで開催され、昨年には、「あしべつフォトウォーク」や「あしべつカルタ」の作成など多くの地域貢献事業を実施され、まちづくりや人づくりにより精力的に取り組まれていることに深く敬意と感謝の意を表させていただきます。「フルコミット」未来へ届け！溢れる笑顔」をスローガンに掲げられた同所の益々のご発展を祈念申し上げます。

本年が、本市の市制施行70周年の節目の年で、時を同じくして同所の創立70周年とも重なることから、ともに連携した周年事業の実施について現在、協議・検討をさせていただいていくところです。

17日、本年最初の市議会(臨時会)が開催され、冒頭に先月7日から発生していた市立芦別病院及び市保健福祉施設「すばる」の新型コロナウイルス・クラスター(集団感染)の終息や、オミクロン株対応ワクチンの接種状況等について行政報告を行うとともに、今般国から示された、妊娠から出産・子育てまで一貫した「伴奏型相談支援

事業」と妊娠・出産時の「経済的支援事業」を一体的事業として行うことによる出産・子育て応援交付金や、12月の大雪による除雪回数増加による委託料の追加等を盛り込んだ一般会計補正予算について提案させていただきました。慎重なご審議のもと原案可決となりました。

20日、交通安全協会・安全運転管理者協会・安全運転管理者事業主会・交通指導委員会の交通4団体主催による「交通安全祈願祭」が芦別神社で執り行なわれました。

昨年、市内における死亡事故の発生がなかったことに安堵しつつも、道内においては統計史上過去最少とはいえ、115人と多くの方の尊い命が犠牲となり、中でも、高齢運転者による事故も少なくなく、社会問題化している現状からも、市では現在、運転に不安を覚える高齢運転者の方が免許を自主的に返納しやすい環境づくりのため、新たに「自主返納支援制度」の創設に向け検討を行っており、運転免許保有者の急速な高齢化を見据えた交通事故防止対策にも一層努めていかなければならないところです。

今後とも、交通4団体の皆様をはじめ関係機関、関係団体の皆様とともに、より効果的な交通安全運動を推進し、交通事故のない、安全安心な交通社会の実現に向け取り組んでまいりますので、引き続き市民皆様のご協力をお願いいたします。

立春の候とはいえ、厳しい寒さが続くうえ、新型コロナウイルスとインフルエンザとの同時流行も懸念されますので、市民の皆様には、くれぐれもご自愛のうえ、ご健勝をお過ごしください。(1月23日記)

芦別市長 萩原 貢